

A：岩手県コース

尾本 由紀子（2001・経営）

東日本大震災後、何か動かなければならないと想いながら、時が過ぎるのは早いもので、来年3月11日には2年を迎えます。義援金や亡くなられた方々の鎮魂のために写経することしか出来ないまま、心に迷いを抱え、今日に至っていました。しかし、今回立命館大学校友会の東北応援ツアー参加者募集のチラシを見た時、「これだ！」と思い、即申し込みをしました。東北校友の生々しい津波の映像や、震災後のご苦労されたお話を直接聞くことができ、私にとっての今後の道標を立てることができました。顔も知らない校友達が集まり、同じ志を持つ者が、迷いに解決策を見出したのは言うまでもありません。1人1人の力は微力でも、仲間の輪は力強いことを知りました。米沢藩主、上杉鷹山の有名な格言、「なせばなる成さねば為らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりにけり」この名言を肝に銘じ、行動に移していきたいと思います。先ず私にできること、それは多くの方々に東北を訪れるきっかけにして欲しい情報発信をしていくつもりです。最後に、この企画を立てて頂いた立命館大学校友会に感謝の気持ちでいっぱいです。